

恵那市リニアまちづくり 基盤整備計画(案)

～リニアまちづくり構想の実現のための基盤整備～

令和元年度(2019)

資料編

令和元年〇〇月

恵那市

目次

資料編

資料1	現状分析・・・・・・・・・・・・・・・・	1
資料2	渋滞・混雑箇所・・・・・・・・・・	24

現状分析

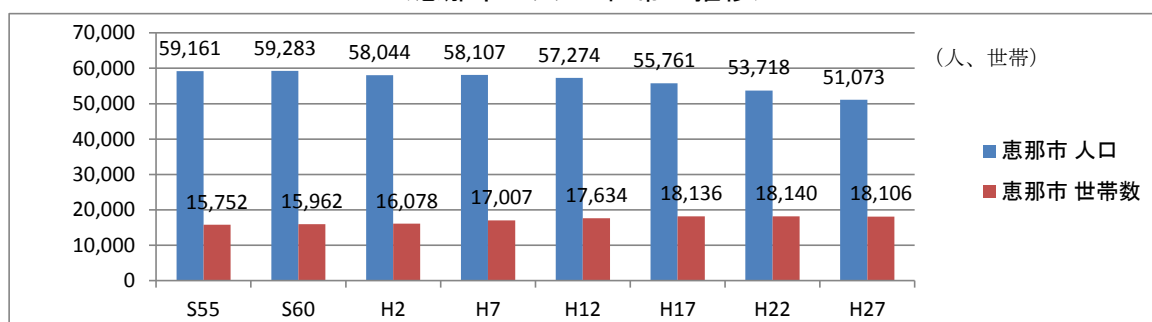
1－1 恵那市の概況

(1) 人口動向

① 恵那市の人口・世帯数の推移

- ・ 恵那市の人口は平成 27 年で 51,073 人であり、減少傾向となっています。減少幅としては、昭和 55 年からの 35 年で約 8,000 人減少しています。
- ・ 世帯数は、昭和 55 年から増加傾向となっています。

＜恵那市の人口・世帯の推移＞

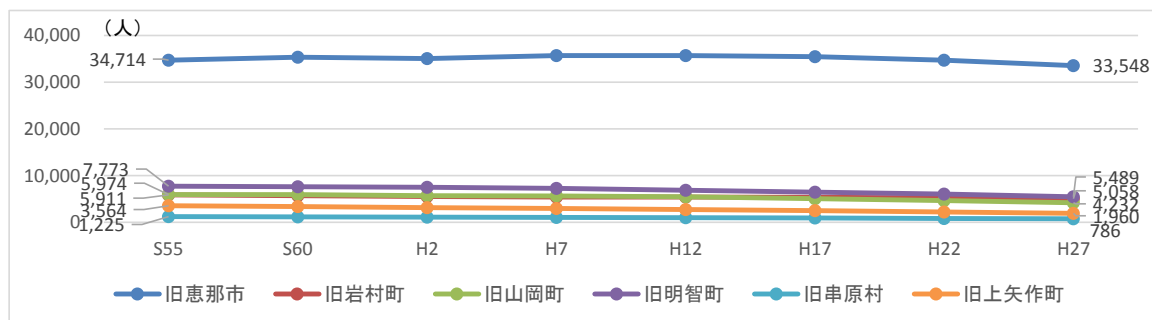


資料：国勢調査

② 恵那市域の人口の推移

- ・ 地域別の人口は、恵那市内の各地域ともに近年は減少傾向となっています。

＜恵那市域の人口の推移＞

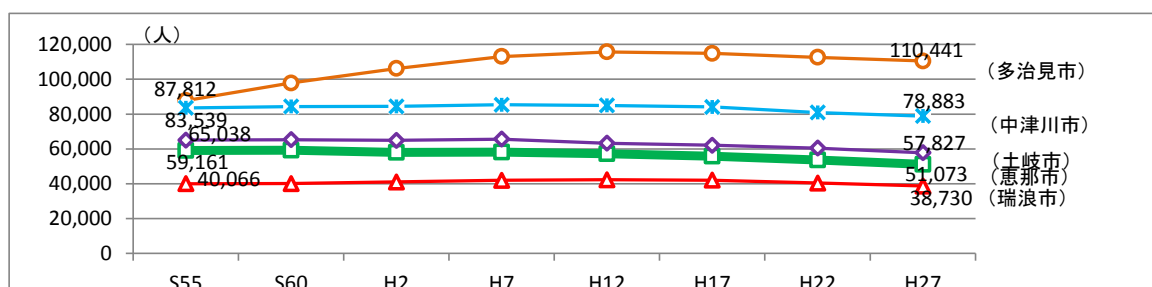


資料：国勢調査

③ 東濃圏域の人口の推移

- ・ 東濃圏域の人口は、圏域各市とも近年は減少傾向となっています。

＜東濃圏域の人口の推移＞



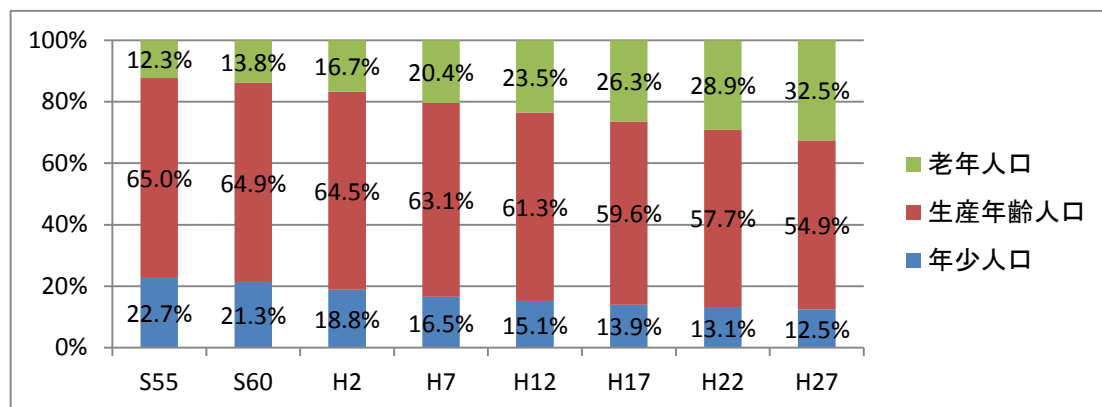
資料：国勢調査

(2) 高齢化率の推移

① 恵那市の年齢別人口の推移

- ・ 高齢化が進行しており、高齢化率（老年人口比率）が平成 27 年では約 33%となっています。

＜年齢別人口の推移＞

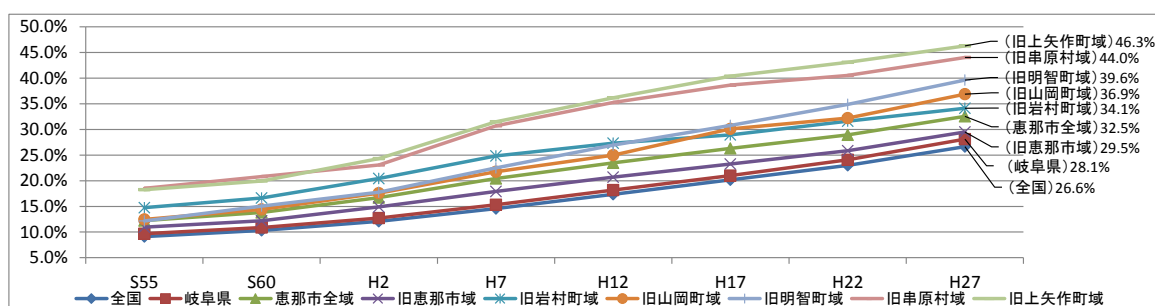


資料：国勢調査

② 恵那市域の高齢化率の推移

- ・ 各地域ともに高齢化が進行しており、高齢化率はすべての地域において全国平均や岐阜県平均を上回っています。
- ・ 特に旧上矢作町域や旧串原村域といった市南部の高齢化率が高く、40%を超えています。

＜恵那市域の高齢化率の推移＞

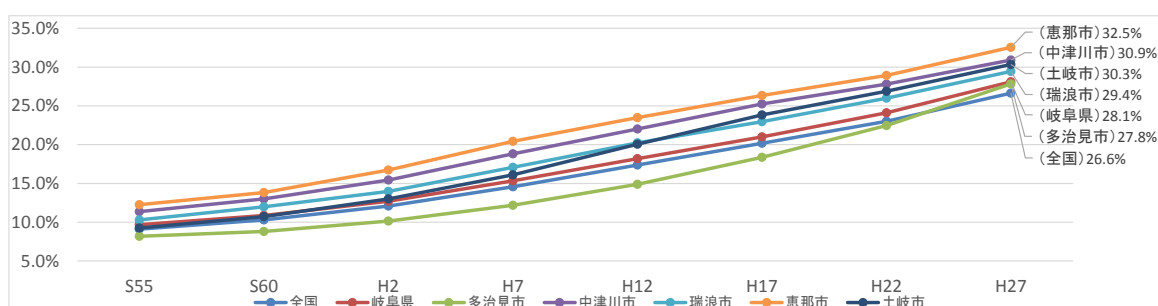


資料：国勢調査

③ 東濃圏域の高齢化率の推移

- ・ 東濃圏域の各市ともに高齢化が進行しているなかで、恵那市が東濃圏域の中で最も高齢化率が高くなっています。

＜東濃圏域の高齢化率の推移＞



資料：国勢調査

(3) 人口動態

- ・人口動態について、自然動態は近年 400 人以上の減少、社会動態は転出超過が続いています。

<人口動態>

(単位:人) 各年10月1日～翌年9月31日

区分	自然動態			社会動態								
	出生	死亡	増減 (出生-死亡)	転入				転出				増減 (転入-転出)
				県内	県外	その他	総数	県内	県外	その他	総数	
平成18～19年	419	607	△ 188	745	900	12	1,657	801	995	14	1,810	△ 153
19～20年	430	594	△ 164	668	869	13	1,550	802	1033	8	1,843	△ 293
20～21年	404	620	△ 216	693	692	14	1,399	725	955	11	1,691	△ 292
21～22年	420	680	△ 260	644	722	1	1,367	684	858	—	1,542	△ 175
22～23年	409	743	△ 334	675	766	4	1,445	637	858	1	1,496	△ 51
23～24年	365	690	△ 325	573	768	2	1,343	693	801	—	1,494	△ 151
24～25年	381	672	△ 291	646	696	—	1,342	722	930	—	1,652	△ 310
25～26年	378	707	△ 329	560	743	—	1,303	679	909	—	1,588	△ 285
26～27年	319	717	△ 398	596	667	—	1,263	669	924	—	1,593	△ 330
27～28年	290	732	△ 442	593	658	6	1,257	640	749	65	1,454	△ 197
28～29年	297	780	△ 483	564	717	8	1,289	657	840	40	1,537	△ 248

資料：人口動態調査

(4) 移住の状況

- ・移住実績については、平成 28 年度が 116 世帯 (342 人)、平成 29 年度が 77 世帯 (211 人)、平成 30 年度が 93 世帯 (232 人) となっています。

<移住・定住の実績調査>

平成28年度				平成29年度				平成30年度			
世帯数		世帯人数		世帯数		世帯人数		世帯数		世帯人数	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
73	43	216	126	51	26	146	65	58	35	153	79
116		342		77		211		93		232	

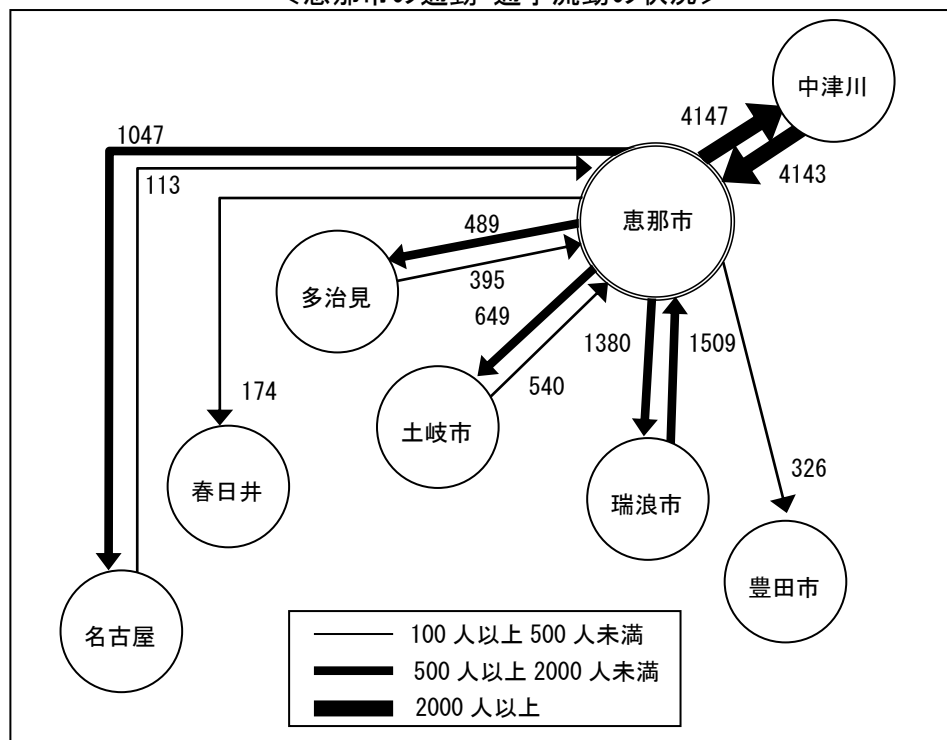
(世帯、人)

資料：移住・定住に関する実績調査 (H28～H30)

(5) 通勤・通学流動の状況

- ・恵那市の通勤・通学の状況をみると東濃圏域各市への流動が多くなっています。特に、中津川市への流動が最も多く、約 4,000 人の通勤・通学がみられます。また、名古屋市への流動も約 1,000 人と多くなっています。

＜恵那市の通勤・通学流動の状況＞



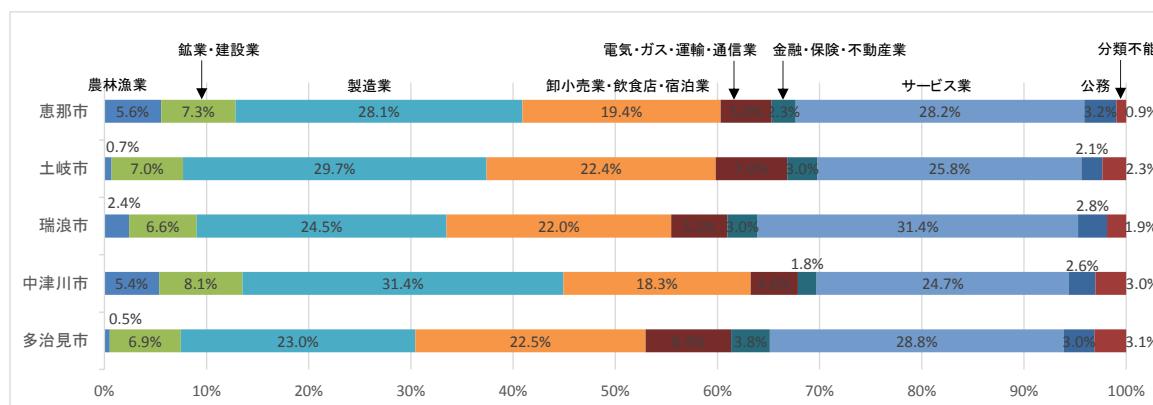
資料：H27 国勢調査

(6) 就業事情

① 15 歳以上就業者の産業別比率（東濃圏域）

- ・恵那市の就業者の産業別比率は製造業が最も高く、次いでサービス業が多くなっています。

＜15 歳以上就業者の産業別比率（東濃圏域）＞



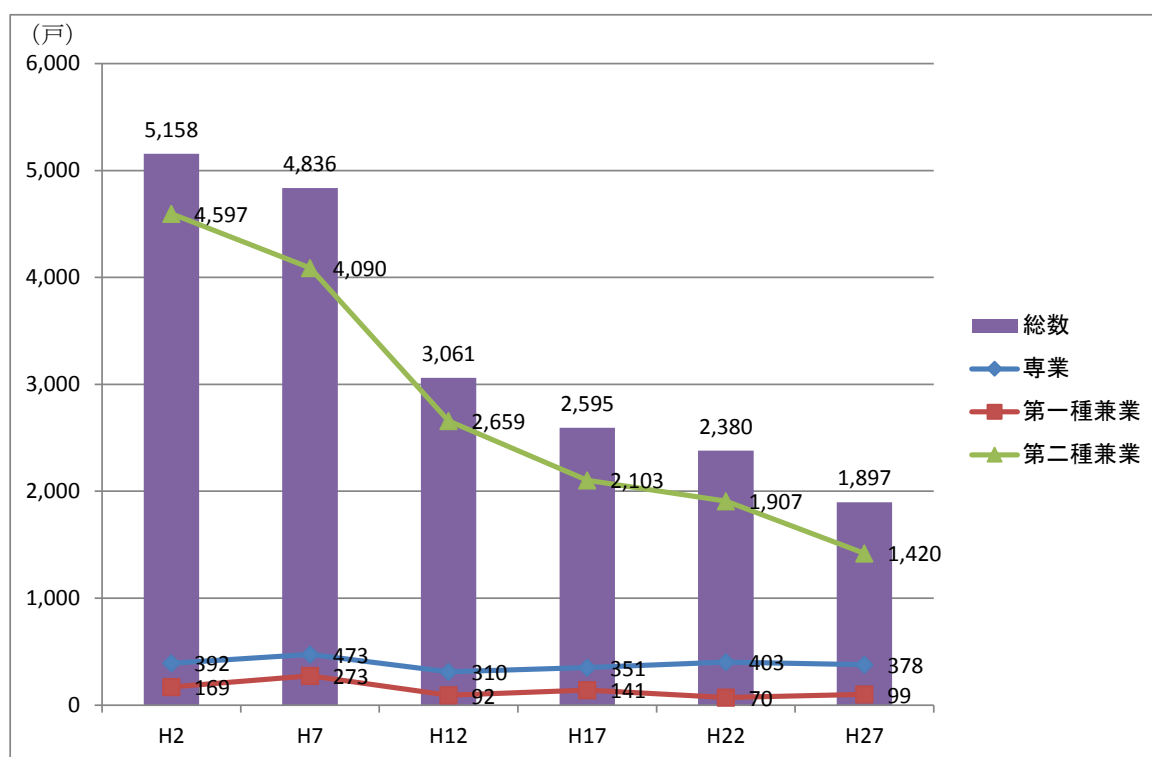
資料：H27 国勢調査

(7) 農業の状況

① 農家数の推移

- ・恵那市の販売農家数は平成 27 年で 1,897 戸となっており、うち専業農家が 378 戸 (19.9%)、第一種兼業農家が 99 戸 (5.2%)、第二種兼業農家が 1,420 戸 (74.9%) となっています。
- ・販売農家は、第二種兼業農家を中心に減少傾向となっています。
- ・恵那市の総農家数は 3,618 戸、農家率は 20.0%となっています。農家率は全国平均、岐阜県平均を大きく上回っており、東濃圏域では 1 位となっています。専業農家率も 9.5%となっており、東濃圏域において 1 位となっています。

<販売農家数の推移>



資料：農林業センサス

<農家の状況>

主な指標		全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町中)	東濃圏域 順位	備考
農家の状況	総世帯数	53,448,685	753,212	18,106	13位	4位	H27国勢調査
	総農家数(戸)	2,155,082	60,790	3,618	5位	2位	2015農林業センサス(自給的農家+販売農家)
	農家率(%)	4.0	8.1	20.0	9位	1位	農家数÷世帯数
	販売農家数(戸)	1,329,591	28,511	1,897	4位	2位	2015農林業センサス(販売農家)
	専業農家(戸)	442,805	5,770	378	4位	2位	2015農林業センサス(販売農家)
	専業農家率(%)	20.5	9.5	10.4	11位	1位	専業農家数÷農家数

【販売農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家

【自給的農家】経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

②農地の状況

- ・恵那市の耕地面積は 3,340ha で、田の面積は 2,610ha と耕地面積の 78.1%を占めています。この水田率 78.1%は全国平均、岐阜県平均より高くなっています。
- ・恵那市の耕作放棄地面積は、耕作面積の約 16%となっています。

<農地の状況>

〈農地の状況〉						
主な指標	全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町村中)	東濃圏域 順位	備考
農 地 の 状 況	総面積(ha)	377,974.17	10,621.29	50,424	7位	1位 全国都道府県市区町村別面積調 (国土地理院)
	耕地面積(ha)	4,420,000	56,000	3,340	5位	2位 農林水産統計平成30年耕地面積
	耕地率(%)	11.7	5.3	6.6	22位	1位 耕地面積÷総面積
	田の面積(ha)	2,405,000	42,900	2,610	6位	2位 農林水産統計平成30年耕地面積
	水田率(%)	54.4	76.6	78.1	20位	5位 田の面積÷耕地面積

<耕作放棄地面積>

	H12	H17	H22	H27
恵那市(ha)	281.09	446.20	418.00	525.00
増減量	-	165.11	-28.2	107.00

資料：農林業センサス

③生産の状況

- ・岐阜県の農業産出額は 1,173 億円であり、品目別の割合では畜産が 38.7%、野菜が 29.8%、米が 19.5%となっています。
- ・岐阜県の主要農畜産物は花木類、かき、ほうれんそう、かぶ、トマト、えだまめ、いちご、くり、米（水稻）が挙げられます。

<生産の状況>

主な指標	全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町村中)	東濃圏域 順位	備考
生 産 の 状 況	農業産出額(億円)	93,787	1,173	-	-	農林水産統計平成29年農業産出額 ※農業産出額は、県単位での集計結果のため、岐阜県としての動向を整理
	うち米の割合(%)	18.6	19.5	-	-	
	野菜の割合(%)	26.1	29.8	-	-	
	果実の割合(%)	9.0	4.3	-	-	
	花きの割合(%)	3.7	5.5	-	-	
	畜産の割合(%)	35.4	38.7	-	-	

<主要農畜産物の生産量(平成 29)>

	生産量	全国シェア	全国順位
花木類(鉢もの類)(千鉢)	4,380	10.1%	3位
かき(t)	14,600	6.5%	4位
ほうれんそう(t)	11,100	4.9%	6位
かぶ(t)	3,410	2.9%	9位
トマト(t)	23,700	3.2%	9位
えだまめ(t)	1,590	2.3%	10位
いちご(t)	2,600	1.6%	14位
くり(t)	810	4.3%	4位
米(水稻)(t)	106,900	1.4%	26位

(資料：花き生産出荷統計、果樹生産出荷統計、野菜生産出荷統計、作物統計)

＜特色ある農産物＞

■主要な農産物

米／いも類

■野菜

トマト／チョロギ／山ごぼう／白ナス／里芋／辛味大根／黒豆／そら豆／大豆／小豆

■洋野菜

アーティチョーク（あざみ）／チコリ（焼酎用）

■果実等

栗／桃／ゆず／筆柿／キウイ／梅／イチゴ／ラズベリー／ブルーベリー／ナツメ／くるみ／ぎんなん／薬草

■山の幸

沢わさび／山菜／へボ／しいたけ／じねんじょ／ハチミツ／ハーブ／たけのこ／わらび／ふき／キノコ／ほう葉／紅うど

■花き

シクラメン／蘭



米（稻穂）



栗（恵那栗）



栽培自然薯

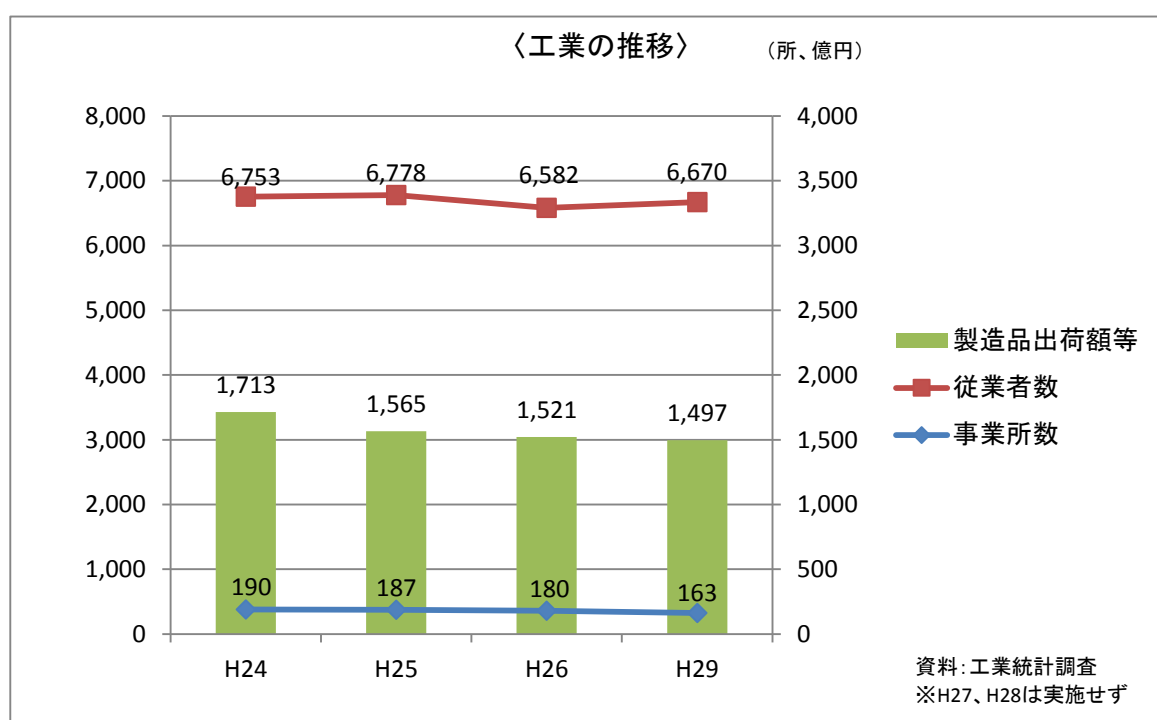
（恵那地域振興計画 平成19年3月 財団法人 中部産業活性化センター）

(8) 工業の状況

① 工業の推移

- ・窯業関連と紙関連の比較的古くから立地した産業と、工業団地等に立地したプラスチックや機械等の業種が、恵那市の主要な製造業です。
- ・工業団地として恵那テクノパーク、岩村工業団地、明智工業団地が整備されています。
- ・事業所数は減少傾向です。従業者数は平成 26 年で減少しているものの平成 29 年で増加傾向に転じています。
- ・平成 29 年において、従業者数・製造品出荷額等はいずれも岐阜県内 9 位となっています。(東濃圏域では 3 位)

＜工業の推移＞



②産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

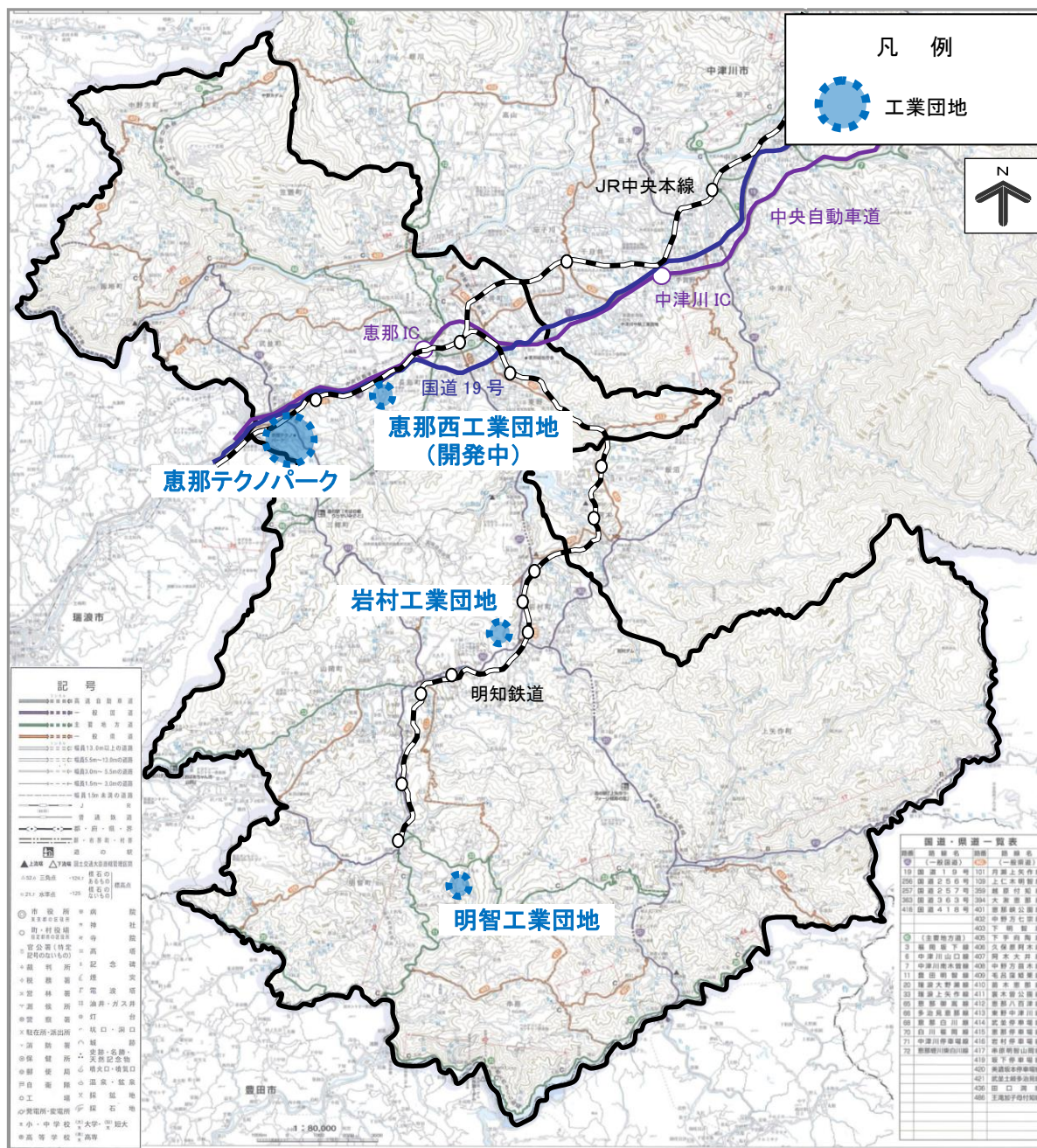
- ・事業所数では、「窯業・土石製品製造業」（26 事業所）と「食料品製造業」（17 事業所）、
「パルプ・紙・紙加工品製造業」（17 事業所）、「プラスチック製品製造業」（16 事業所）が目立ちます。
- ・従業者数では、「プラスチック製品製造業」（1,428 人）、「窯業・土石製品製造業」（945 人）が目立ちます。
- ・製造品出荷額等では、「プラスチック製品製造業」（約 295 億円）、「パルプ・紙・紙加工品製造業」（約 246 億円）が目立ちます。恵那市は「プラスチック製品製造業」が岐阜県内で第 4 位、東濃圏域で第 1 位となっています。

<産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(平成 29 年)>

区分	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		岐阜県順位 (42市町村中)	東濃地域順位
	所		人		万円			
恵那市	163	100.0%	6,670	100.0%	14,971,666		9位	3位
09食品製造業	17	10.4%	436	6.5%	581,342	3.9%	12位	3位
10飲料・たばこ・飼料製造業	1	0.6%	18	0.3%	X	X	-	-
11繊維工業	5	3.1%	84	1.3%	97,154	0.6%	13位	2位
12木材・木製品製造業(家具を除く)	3	1.8%	49	0.7%	103,422	0.7%	13位	2位
13家具・装備品製造業	3	1.8%	23	0.3%	40,131	0.3%	18位	2位
14パルプ・紙・紙加工品製造業	17	10.4%	571	8.6%	2,461,035	16.4%	3位	2位
15印刷・同関連業	4	2.5%	87	1.3%	59,307	0.4%	14位	5位
16化学工業	2	1.2%	15	0.2%	X	X	-	-
17石油製品・石炭製品製造業	1	0.6%	12	0.2%	X	X	-	-
18プラスチック製品製造業	16	9.8%	1,428	21.4%	2,958,320	19.8%	4位	1位
19ゴム製品製造業	1	0.6%	10	0.1%	X	X	-	-
20なめし革・銅製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
21窯業・土石製品製造業	26	16.0%	945	14.2%	1,530,388	10.2%	5位	3位
22鉄鋼業	4	2.5%	146	2.2%	737,348	4.9%	8位	1位
23非鉄金属製造業	5	3.1%	401	6.0%	1,214,544	8.1%	1位	1位
24金属製品製造業	13	8.0%	375	5.6%	1,361,847	9.1%	9位	2位
25はん用機械器具製造業	4	2.5%	69	1.0%	142,607	1.0%	18位	5位
26生産用機械器具製造業	7	4.3%	84	1.3%	144,658	1.0%	16位	4位
27業務用機械器具製造業	2	1.2%	358	5.4%	X	X	-	-
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	3.1%	360	5.4%	709,675	4.7%	4位	2位
29電気機械器具製造業	8	4.9%	253	3.8%	239,417	1.6%	9位	2位
30情報通信機械器具製造業	1	0.6%	22	0.3%	X	X	-	-
31輸送用機械器具製造業	14	8.6%	869	13.0%	1,912,615	12.8%	6位	2位
32その他の製造業	4	2.5%	55	0.8%	25,218	0.2%	15位	3位

資料：工業統計調査

＜工業団地位置図＞

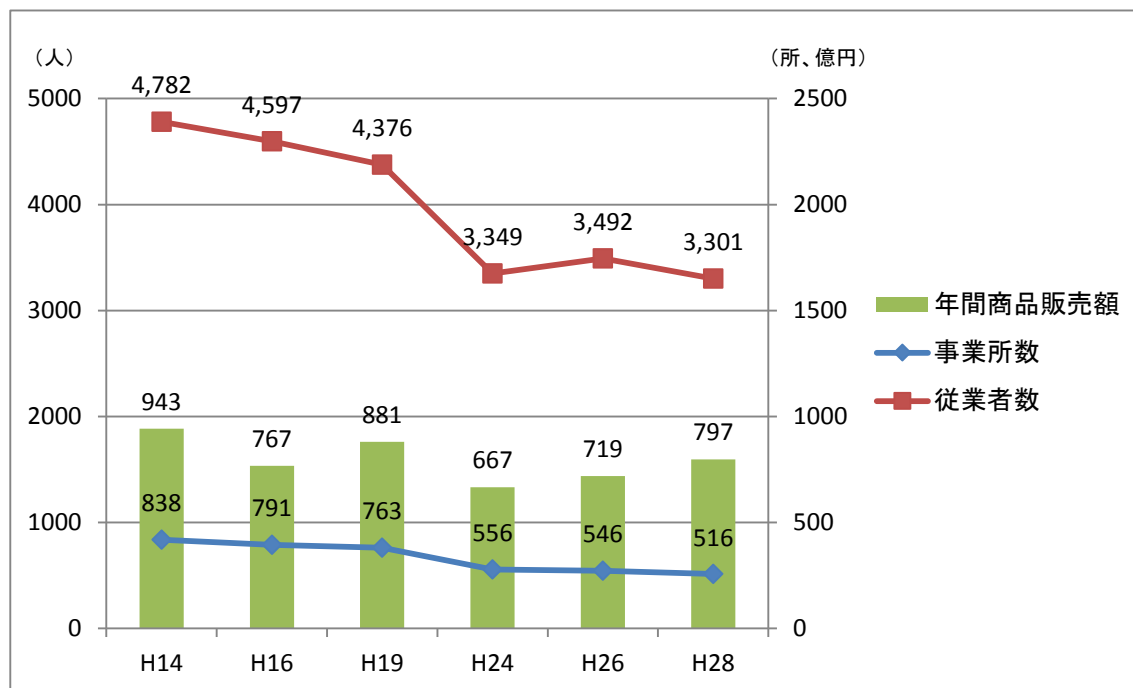


(9) 商業の状況

① 商業の推移

- ・事業所数、従業者数とも減少傾向です。年間商品販売額は近年増加しています。

< 商業の推移 >



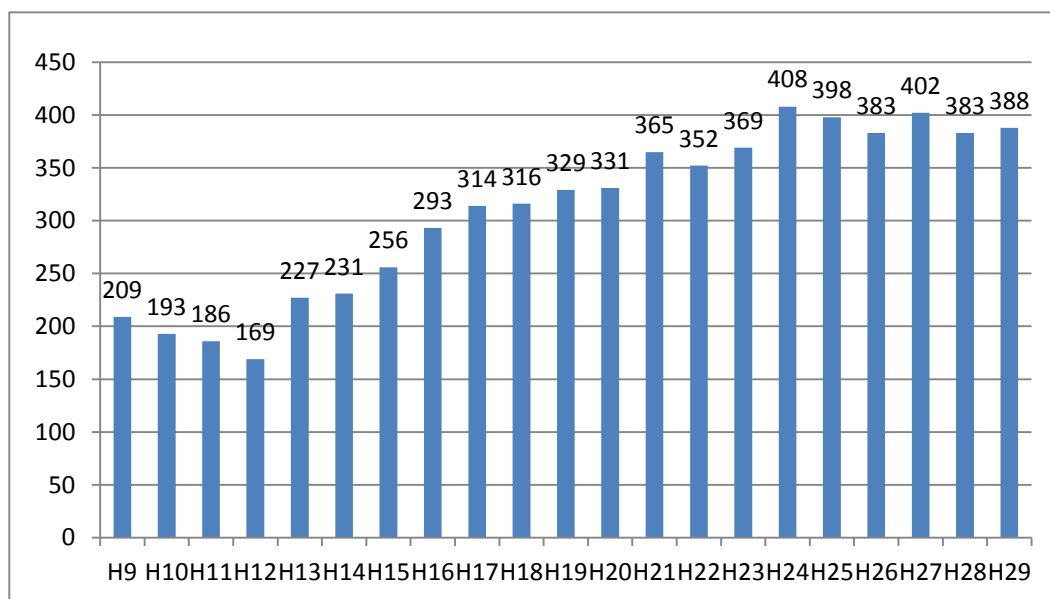
資料：商業統計調査、経済センサスー活動調査

(10) 観光

- ・中津川市と共有する観光資源である恵那峡・阿木川ダム・保古の湖などの水辺空間、中山道・岩村城址・日本大正村といった歴史資産、坂折棚田や農村景観日本一の富田地区、集客力のある道の駅等があります。これら様々な観光資源は、市内全域に広く点在しています。

<観光入込み客数の推移<年間>>

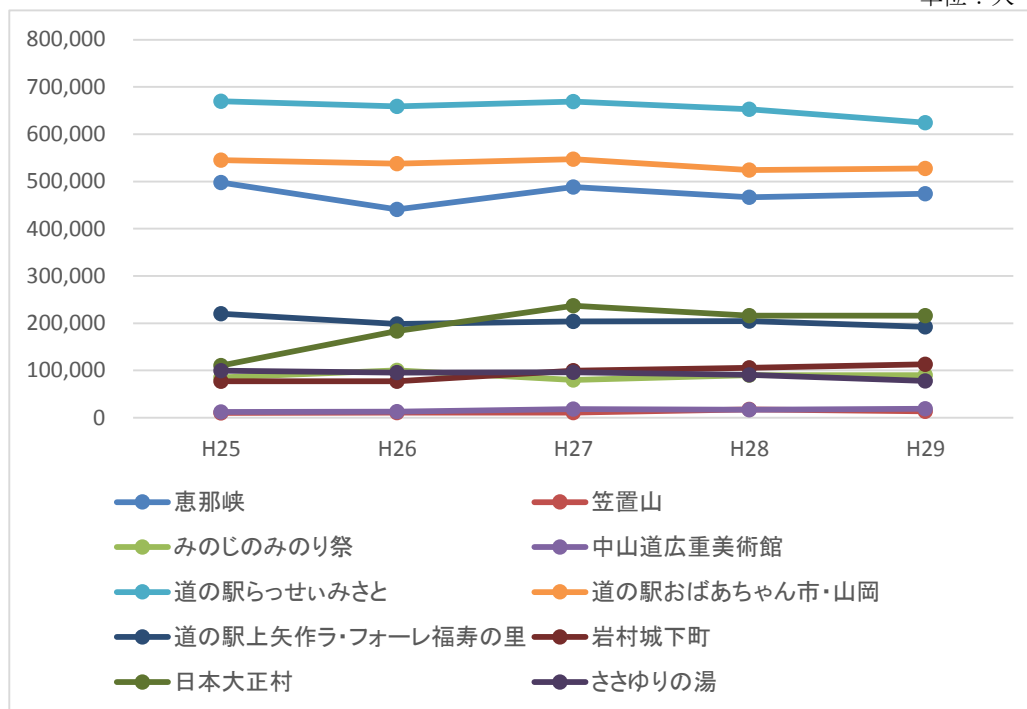
単位：万人



資料：恵那市統計書

<施設別の観光入込み客数の推移<年間>>

単位：人



資料：恵那市統計書

＜主な観光資源の分布＞



資料：恵那市観光まちづくり指針

■地域別の主な観光資源

<旧恵那市域>

（歴史・文化施設）中山道大井宿、中山道広重美術館、中山道ひし屋資料館、武並神社、鍋山のメンヒル

（自然資源）坂折棚田、不動滝、笠置山（クライミングエリア）、恵那峡、笠置峡、保古の湖、寿老の滝、ヒトツバタゴ自生地（笠置山）

（スポーツ・レクリエーション施設）望郷の森キャンプ場、飯地高原テント村、保古の湖キャンプグラウンド、東濃牧場、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場、恵那峡温泉、道の駅「らっせいみさと」

（産業資源）大井ダム、阿木川ダム



中山道大井宿



恵那峡

笠置山
(クライミングエリア)

坂折棚田

<岩村町域>

（歴史・文化施設）岩村町本通り（重要伝統的建造物群保存地区）、岩村城跡、岩村歴史資料館

（自然資源）農村景観日本一

（スポーツ・レクリエーション施設）阿木川ダムこぶし公園



岩村城跡



岩村町本通りの町並



農村景観日本一

<山岡町域>

（歴史・文化施設）飯高観音

（自然資源）ササユリ自生地

（スポーツ・レクリエーション施設）イワクラ公園、花白温泉、山岡駅かてんかん道の駅「おばあちゃん市・山岡」

（産業資源）小里川ダム



飯高観音



山岡駅かてんかん



道の駅「おばあちゃん市・山岡」

<明智町域>

(歴史・文化施設) 日本大正村、旧三宅家

(自然資源) 団子杉

(スポーツ・レクリエーション施設) 大正村コテージこもれび



日本大正村



旧三宅家



大正村コテージ
こもれび

<串原村域>

(歴史・文化施設) 中山神社

(自然資源) 奥矢作湖、お軽の滝、ひよもの枝垂れ桜

(スポーツ・レクリエーション施設) 奥矢作勤労青少年レクリエーションセンター、ささゆりの湯

(産業資源) 矢作ダム



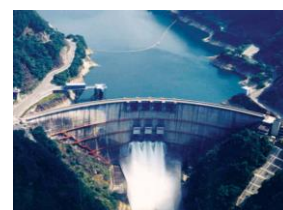
ささゆりの湯



奥矢作勤労青少年
レクリエーションセンター



ひよもの枝垂れ桜



矢作ダム

<上矢作町域>

(歴史・文化施設) 大船神社、八方にらみの龍

(自然資源) 達原溪谷、喉の滝、福寿草自生地、アライダシ自然観察教育林

(スポーツ・レクリエーション施設) 福寿の里モンゴル村、越沢コテージ、コテージかわせみ、道の駅「ラ・フォーレ福寿の里」



八方にらみの龍



喉の滝



福寿の里モンゴル村



アライダシ
自然観察教育林

資料：恵那市観光まちづくり指針

写真出典：恵那市観光協会、恵那市

1－2 土地利用の状況

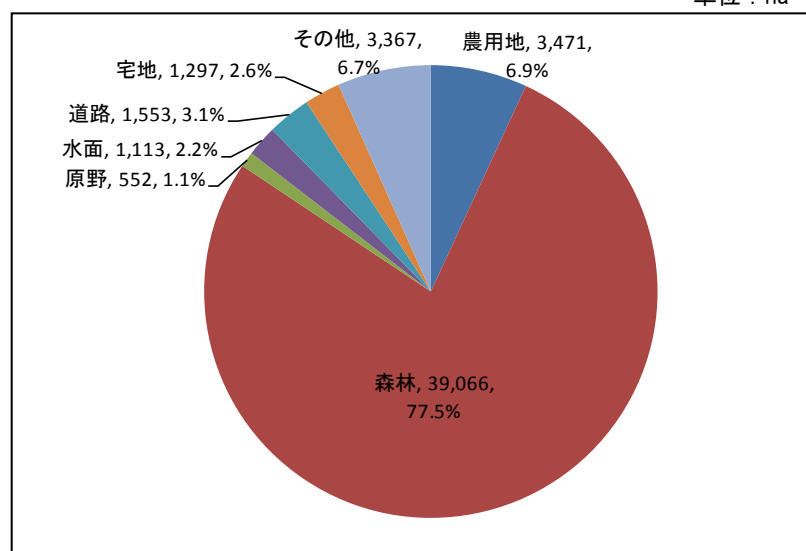
(2) 土地利用現況

① 土地利用現況

- ・恵那市全域の地目別面積は、市域面積 50,419ha のうち森林が 77.5%、農用地が 6.9%、宅地は 2.6%となっています。

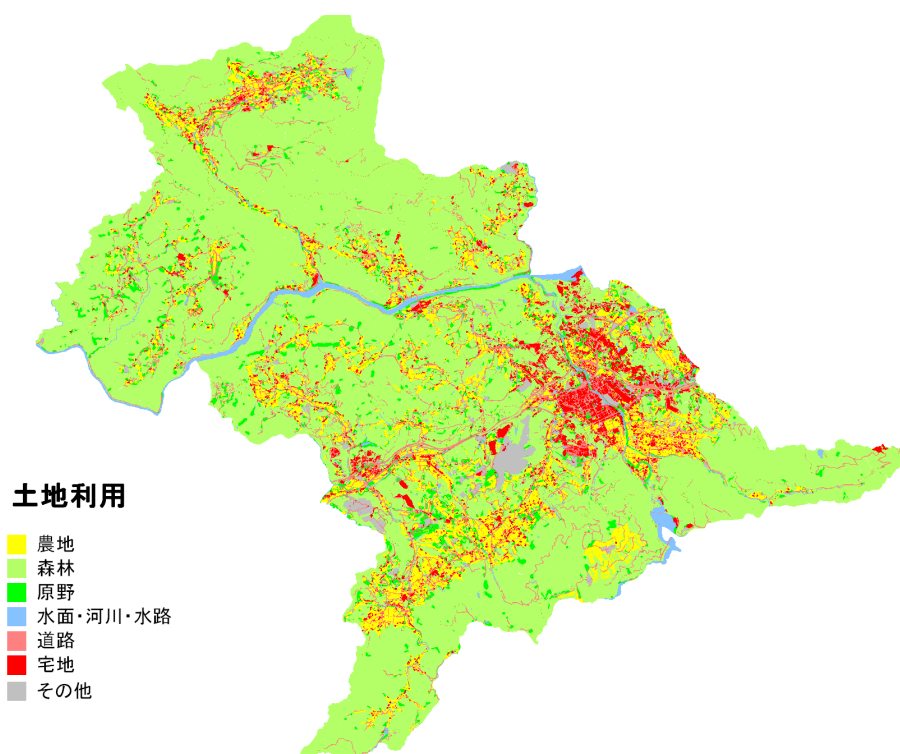
＜地目別土地利用面積＞

単位：ha



資料：国土利用計画(H18)

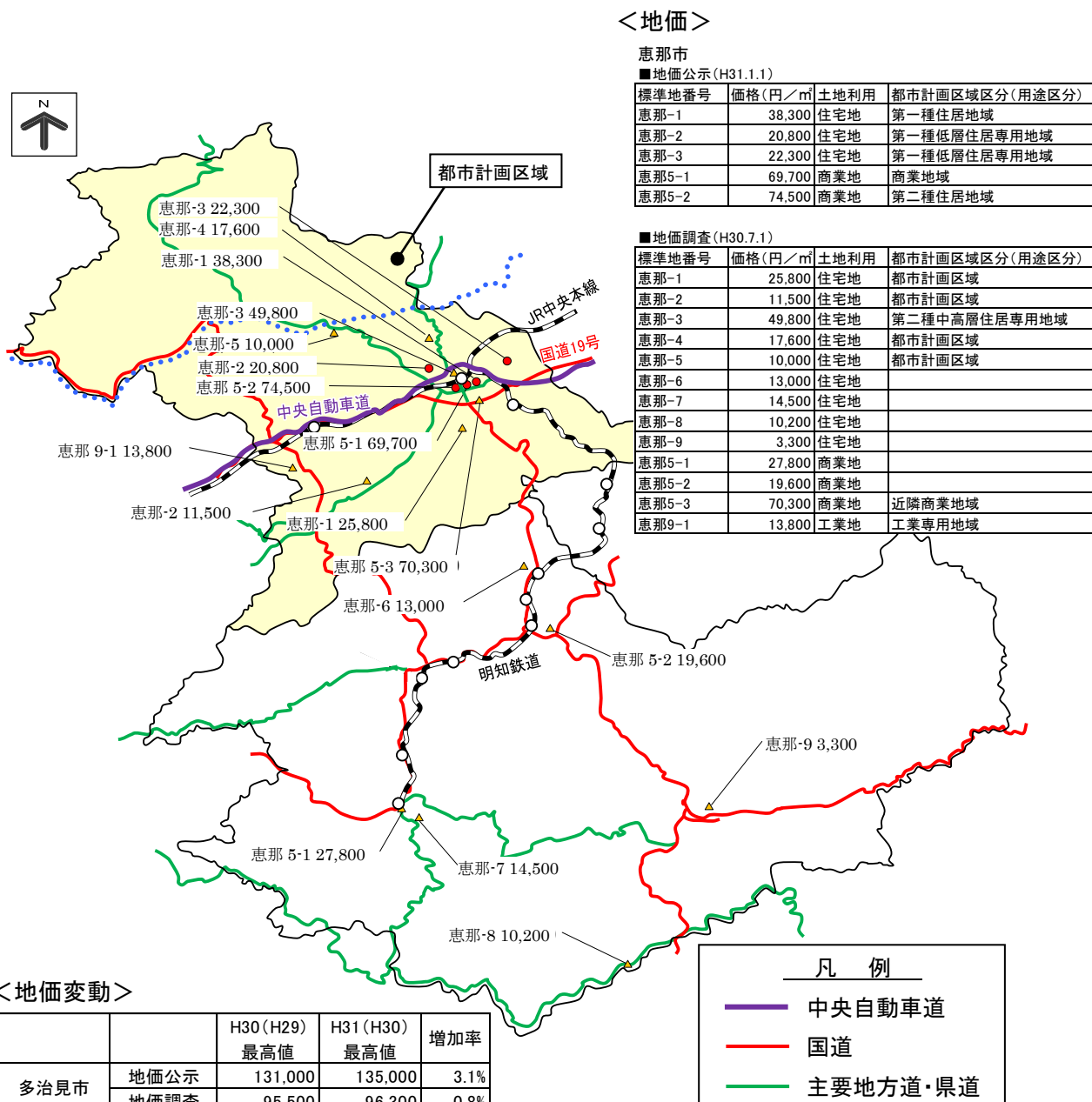
＜都市計画区域内土地利用＞



③地価

- ・地価は、恵那駅周辺の商業地で 69,000～75,000 円/㎡、住宅地で 20,000～40,000 円/㎡となっています。用途地域周辺の住宅地は 10,000 円/㎡台となっています。
- ・H29→H30 の最高値の地価変動をみると東濃圏域の中では中津川市と恵那市（地価調査）が横ばい傾向を示しています。

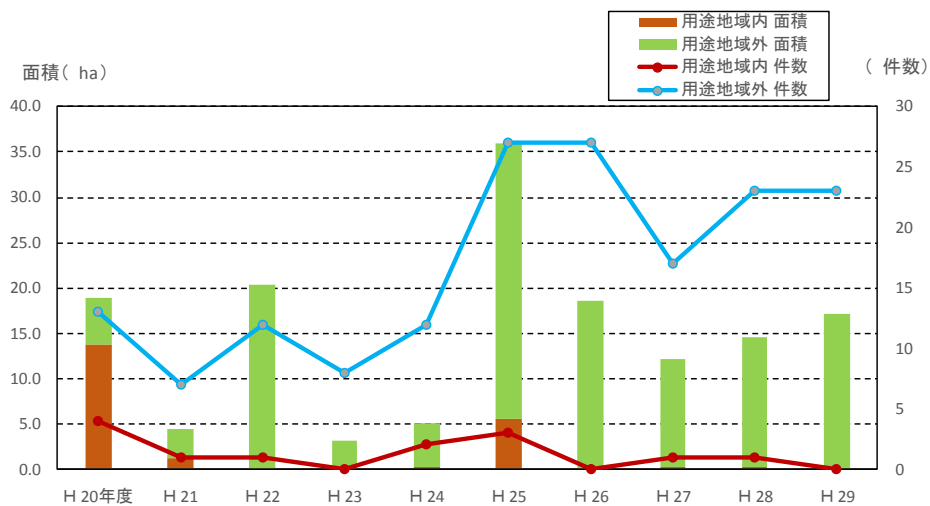
<地価 位置図(恵那市)>



④開発動向

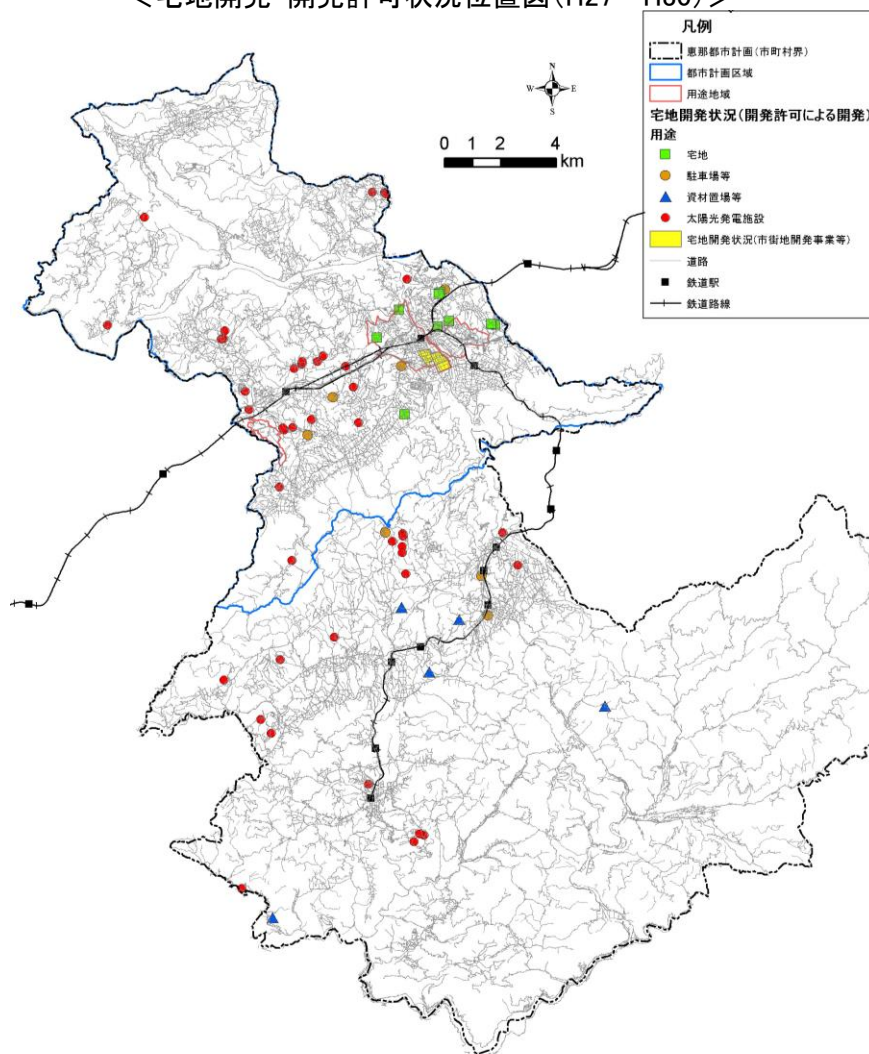
- ・開発許可を伴う事業は、平成20～29年度までの10年間で182件あります。このうち83件が太陽光発電施設であり、平成25年度から急激な増加がみられます。

＜開発許可の推移＞



資料：都市計画基礎調査

＜宅地開発・開発許可状況位置図(H27～H30)＞



資料：都市計画基礎調査

1-3 公共交通機関の現状

(1) 公共交通機関

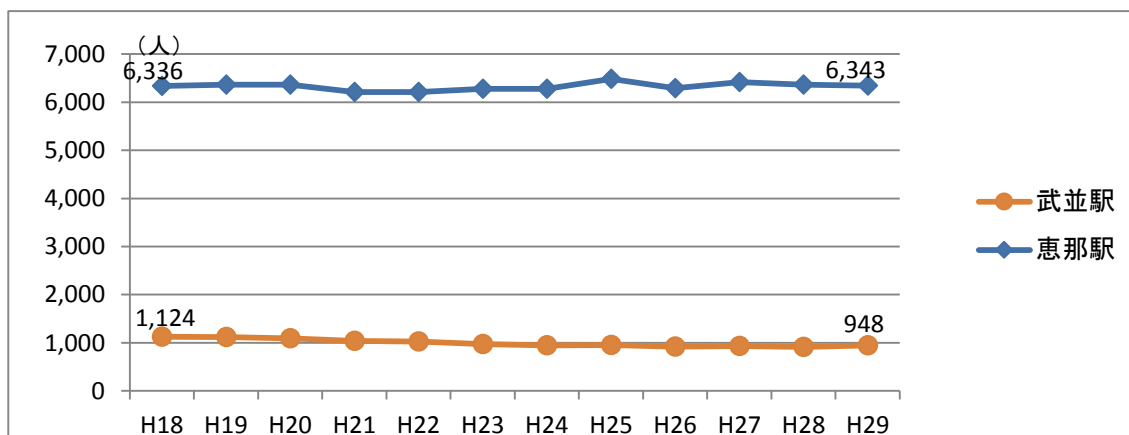
① 鉄道

- ・鉄道は J R 中央本線、明知鉄道（第三セクター）の 2 路線が運行されています。

① JR 中央本線

- ・平成 29 年度の恵那駅の 1 日平均乗降客数は 6,343 人で横ばい、武並駅は 948 人で微減傾向です。

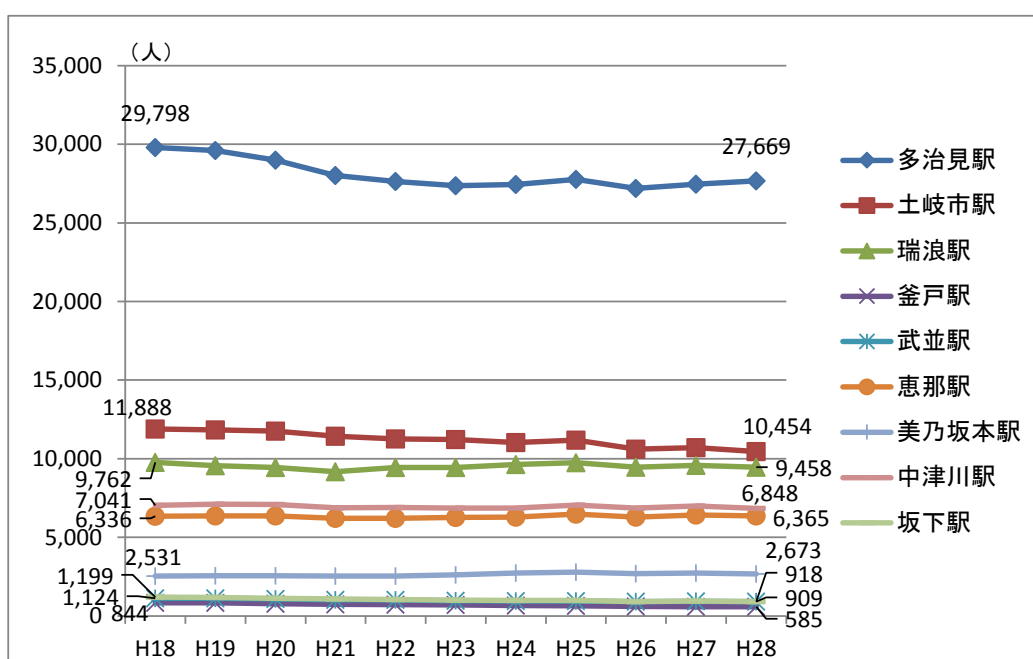
＜恵那駅・武並駅乗降客数の推移＞



資料：恵那市統計書

- ・東濃圏域の各駅の 1 日平均乗降客数は多治見駅が最も多くなっています。各駅とも減少または横ばい傾向です。

＜東濃圏域各駅の乗降客数の推移＞

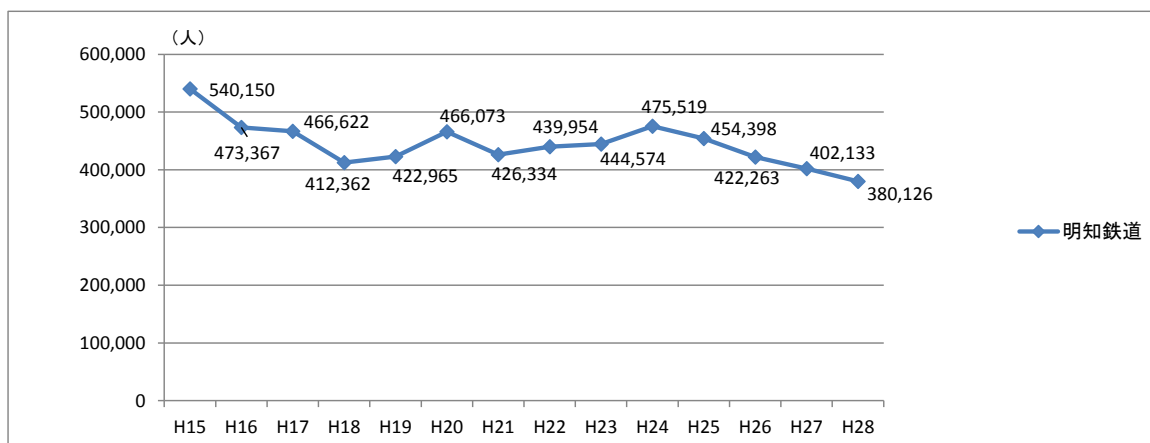


資料：岐阜県統計書

2 明知鉄道

- ・恵那市内に 9 駅、中津川市内に 2 駅の計 11 駅あります。
- ・明知鉄道の年間乗車人員は減少傾向にあります。

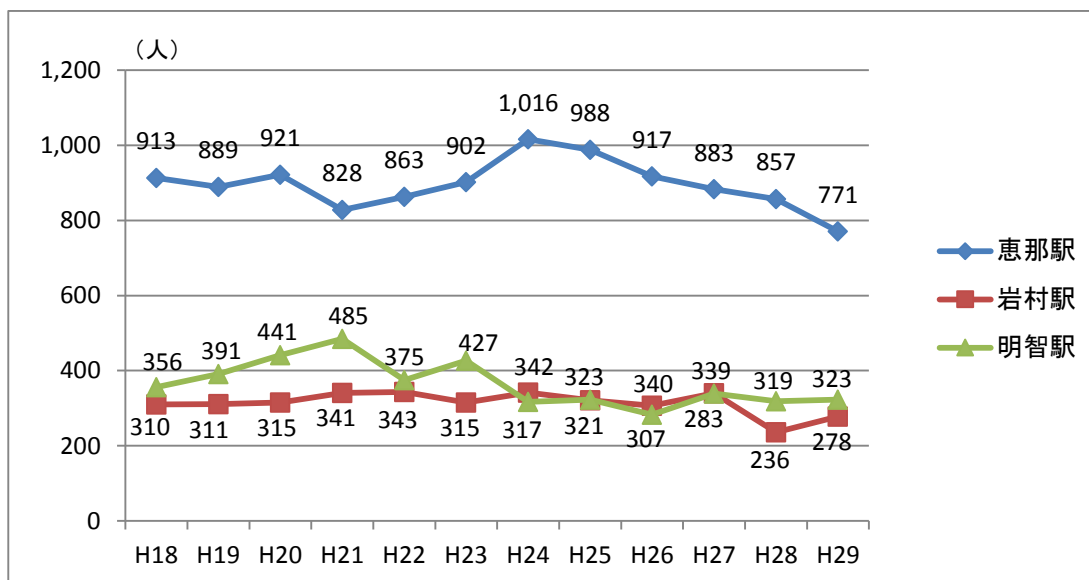
＜明知鉄道年間乗車人員＞



資料：岐阜県統計書

- ・主要な駅の 1 日平均乗降客数は、近年は減少または横ばい傾向となっています。

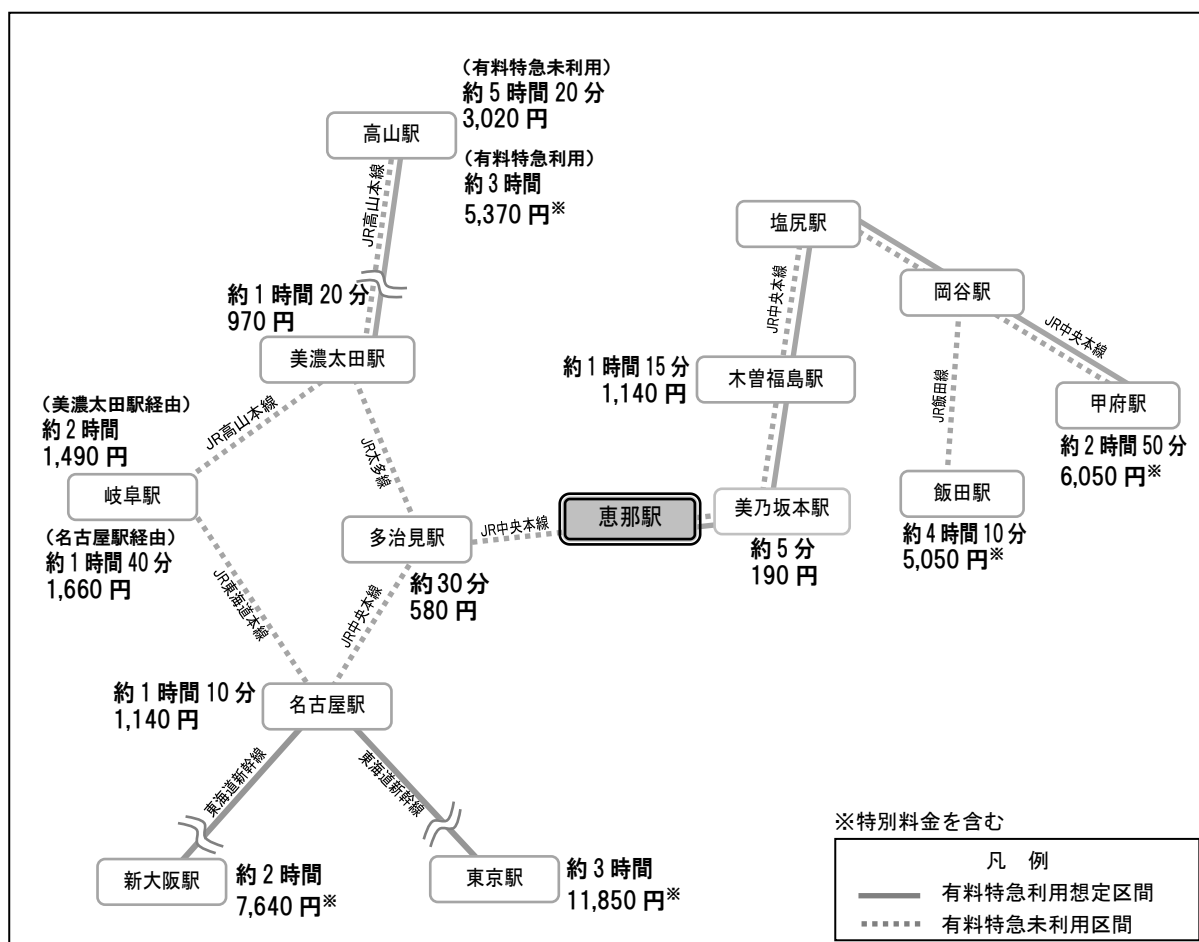
＜主要駅の乗降客数の推移＞



資料：恵那市統計書

③ 広域的な鉄道時間の状況

- ・恵那市へのアクセスは、名古屋駅からＪＲ中央本線で恵那駅まで約１時間１０分となっています。また、東京駅からは、東海道新幹線を利用し、約３時間となっています。

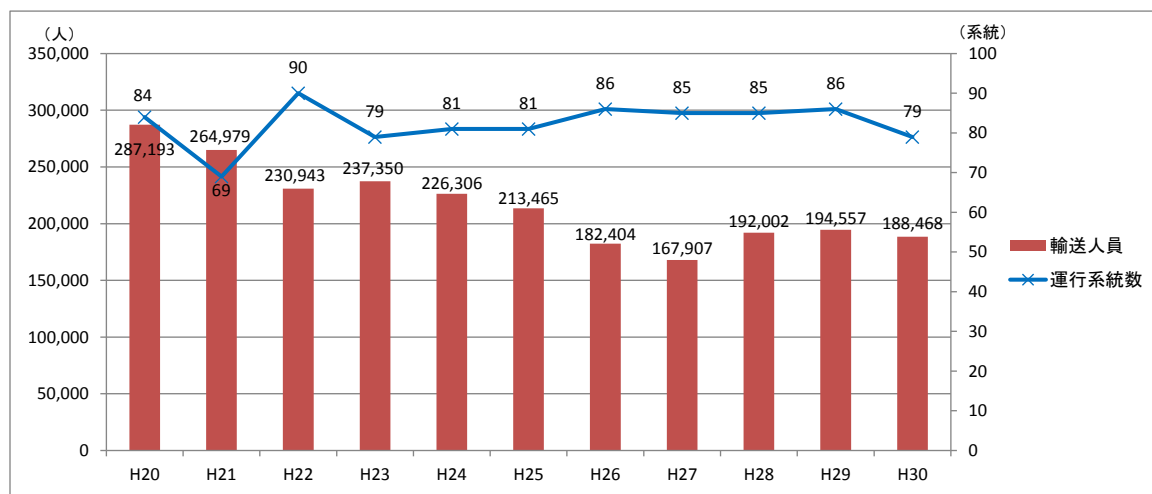


※所要時間、料金（新幹線は通常料金）は全て恵那駅（平日 10 時発）を基準 [2019 年 7 月時点]

②コミュニティバス(自主運行バス)

- ・バスは、ＪＲ及び明知鉄道駅を起点とする路線を中心に東鉄バス、恵那市自主運行バスにより運行されています。
- ・輸送人員は平成 30 年度 188,468 人で、減少傾向です。

＜自主運行バスの輸送人員の推移＞



資料：恵那市観光交流課資料



渋滞・混雑箇所

(1) 渋滞・混雑箇所

1) 交差点の渋滞箇所

市内で慢性的に渋滞が発生する箇所は下表の交差点です。

表 市内の渋滞発生箇所

No.	交差点名	交差点写真
交①	恵那 IC 交差点	
交②	坂の上交差点	
交③	大井町交差点	
交④	恵那高北交差点	
⑤	正家交差点 ※岐阜県事故危険区間に指定	

No.	交差点名	交差点写真
交⑥	長島西交差点 ※土日休日の観光客による 渋滞	
交⑦	恵那峡口交差点 ※土日休日の観光客による 渋滞	

(参考：平成27年3月リニア岐阜県駅設置に伴うアクセス道路検討業務)

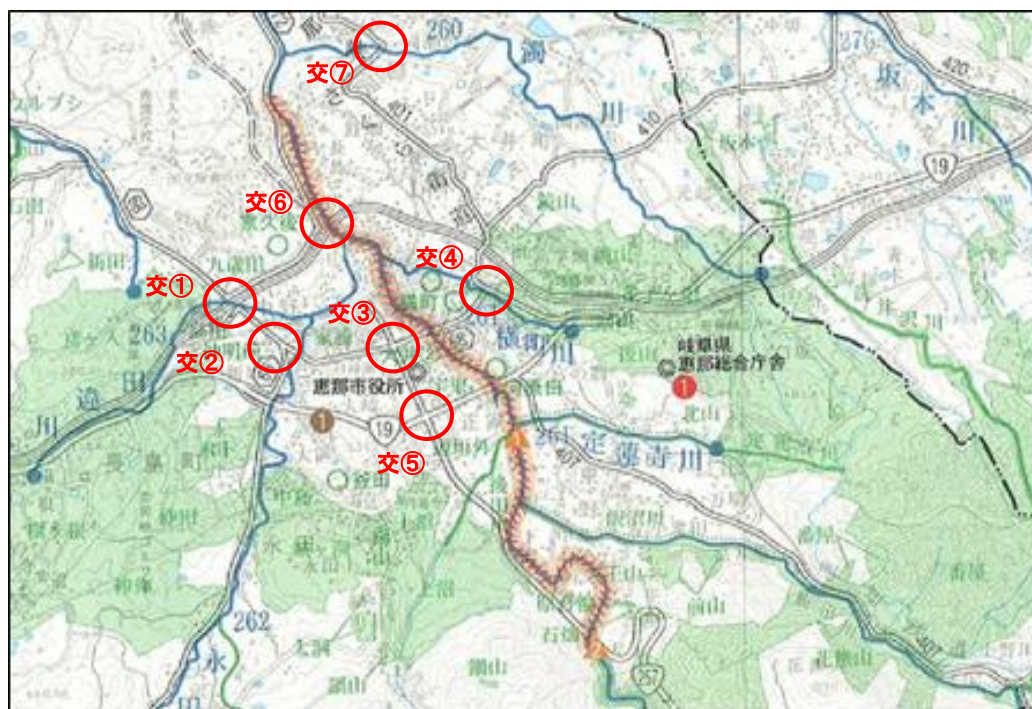


図 交差点箇所図

2) 恵那市道路網の混雑箇所

平成22年度道路交通センサスでは、下図の道路で混雑しており、特に国道19号、恵那白川線、苗木恵那線にて混雑度が1.0以上の数値を示しています。

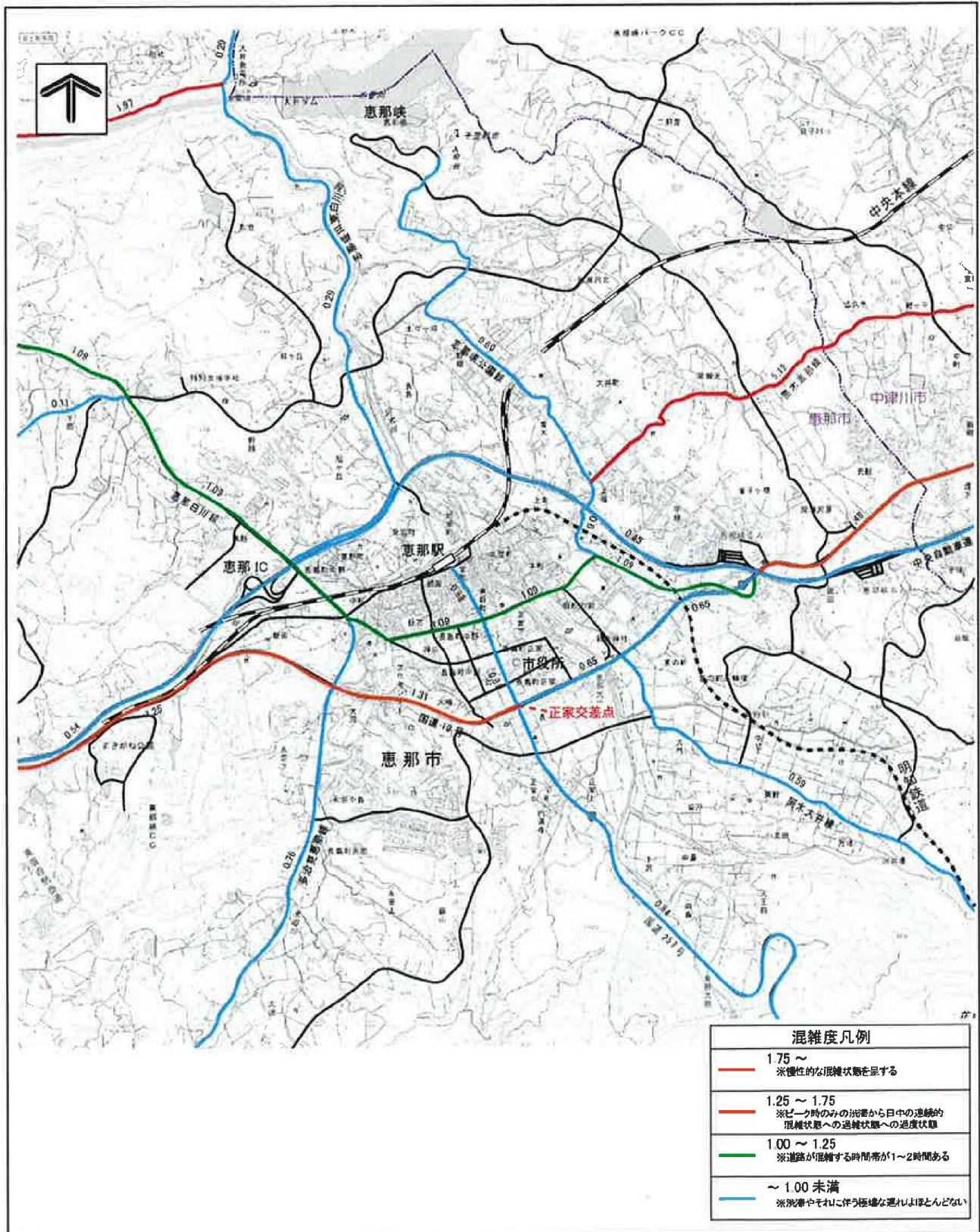


図 混雑度調査結果図（平成22年度交通センサス）

3) リニア開業による道路の交通量推計

リニアが開業することにより、遠方からの観光客が増えることが想定されるだけでなく、東京や名古屋が通勤圏となること、働く場所が増えることなどから住宅地としての需要が増えることも想定されます。こうした状況の中、現状混雑している路線がさらに混雑することが予想されます。以下に、リニア開業による交通量、混雑度の変化を示します。

①現況の交通量と混雑度

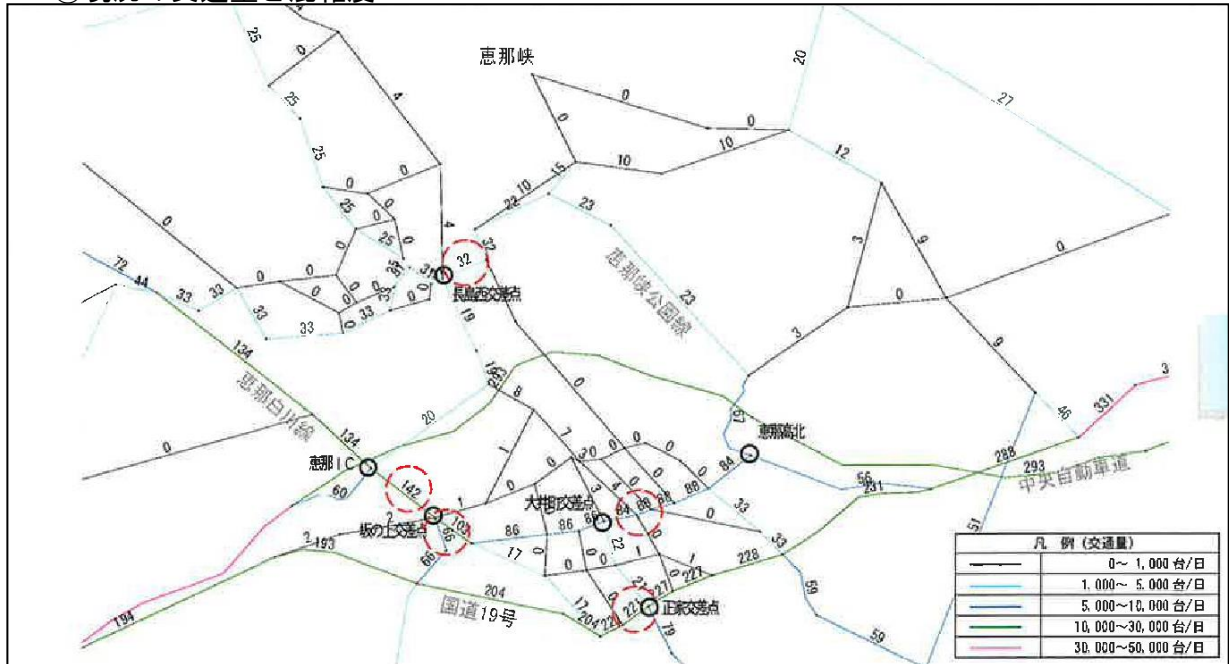


図 現況交通量



図 現況混雑度

②現況の交通量と混雑度

リニアが開業により、1日あたりの将来交通量は、恵那白川線で500台～900台増加、国道19号で1,000台増加、長島西交差点で1,000台増加が見込まれます。混雑度はいずれの箇所も悪化する見込みです。



図 リニア開業後の将来交通量推計



図 リニア開業後の混雑度推計

恵那市リニアまちづくり基盤整備計画

資料編

令和元年〇〇月

恵那市建設部リニアまちづくり課

電話 0573-26-2111

FAX 0573-25-8294